

## 女性活躍のためのライフデザイン形成支援事業【静岡県】

総事業費

868 千円

交付金額

434 千円

## 地域の実情と課題

- 本県の育児世代の女性の有業率は全国36位(H29就業構造基本調査)、管理的職業従事者に占める女性の割合も全国39位(R2国勢調査)と低い。
- 転勤・残業が前提の男性中心の労働慣行のもとでは、就業と家庭を両立できない女性が離脱してしまう。多様な働き方を選択できるマネジメントや経営トップのコミットメントが重要である。
- 性別による固定的役割分担意識により、共働き世帯においても、女性の家事・育児時間は男性の約6倍であり、仕事と家事・育児の二重負担の解消が課題となっている。

## 事業の特徴

- 働く女性のライフデザイン出前講座  
大学と連携し、県内の企業で活躍する女性が仕事や働き方を紹介し、就職活動を控えた学生・生徒に職業生活と家庭の両立をイメージさせ、働き続ける意識を醸成する。
- 女性活躍加速化リーダーミーティング  
女性活躍に向けて行動するリーダーを増やす効果的な取組の検討を行った。また、経営者による取組事例の共有と横展開を図るため、取組事例集を作成する。

## 事業の効果

- ライフデザイン出前講座  
大学の授業の中で開催したことにより、多くの学生が参加。各企業の産育休制度の状況や、女性社員からパートナーとの仕事と家庭の分担状況などを聞くことで、将来パートナーとの仕事と家庭の両立についてイメージできた。
- 女性活躍加速化リーダーミーティング  
女性活躍に対する経営者の想いや取組事例の共有・横展開を図ることができた。

## 目的・目標

- 女性役職者(係長相当職)の割合(アウトカム)  
【目標(令和7年度)】係長(相当職)30%  
【実績(令和4年度)】係長(相当職)25.7%
- 出前講座参加者数・参加者満足度(アウトプット)  
【目標(令和7年度)】60人・90%  
【実績(令和4年度)】81人・99%

## 連携団体

ふじのくに女性活躍応援会議の賛同企業・団体  
ふじのくに女性活躍推進協議会  
県内大学との連携  
・常葉大学  
・静岡文化芸術大学

## 今後の課題

- 女性が活躍している企業の情報が、広く県内の大学生に届くような啓発が必要。
- 女性の管理職登用や働きやすい環境づくりには、人事権を持つ経営者のコミットメントが不可欠であることから、経営者による取組みの促進と、女性が活躍している企業の情報をUターンの子学生等をターゲットに発信する必要がある。

# 事業の概要

## 働く女性のライフデザイン出前講座

会場	常葉大学	静岡文化芸術大学
登壇者	介護福祉業 インフィク(株) 建設業 加和太建設(株) 情報通信業 (株)電算インフォメーション	介護福祉業 社会福祉法人三幸会 製造業 沢根スプリング(株) 建設業 (株)橋本組
開催日	10月27日(木)	10月28日(金)
実績	男子19人 女子18人 計37人参加	男子18人 女子26人 計44人参加



《座談会》

## 女性活躍加速化リーダー・ミーティング

項目	内容
開催日	令和4年11月15日(火) ※オンライン開催
参加者	「女性活躍加速化に向けた行動宣言」賛同企業経営者等 53名
内容	(1)開会挨拶 静岡県副知事 森 貴志 (2)基調講演 (株)大川原製作所 代表取締役社長 大川原 行雄氏 (3)パネルディスカッション テーマ「女性活躍推進における組織トップの役割」 ・女性活躍推進に対する自身のコミットメントについて ・いちおしの施策や苦勞した点 等 <コーディネーター> (株)るるキャリア 顧問 内田 美紀子氏 <パネリスト> (株)大川原製作所 (株)ソフトウェアプロダクツ (株)橋本組
取組事例集	特集 ・行動宣言賛同企業リーダーの想いと我が社のいちおしの取組 ・男性の家事育児参画を促す取組 女性活躍加速化に向けたこれまでのあゆみ



《リーダー・ミーティング》



《取組事例集》